



およその大きさ 130×90×35cm

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・風化して暗色物質に覆われて新鮮な部分がほとんど見られない

表面の特ちょう

- ・大部分が風化して凹凸の激しい状態
- ・一部に1cm以上の黒色結晶あり
- ・岩角で等粒状組織が見られる

* 石材名：黒御影(くろみかげ)

側面の特ちょう

- ・特に表面と側面の差異はない

含まれているもの

- ・黒色物質は最大1cm以上ある。ポイキリティックな角閃石と思われる
- ・白色鉱物は長石類であろう。石英は存在しないように見える

その他の特ちょう

- ・一部破断
- ・風化の仕方が独特(31~33で共通)



メモ

【観察メモ】

- *ポイキリティック組織については岩体番号31の【観察メモ】と拡大写真(左)を参照のこと
- *表面の風化については岩体番号26の【観察メモ】も参照のこと。拡大写真(右)の茶褐色の部分は結晶間に生じた鉄分を含む粘土であろうか

岩石名

斑れい岩 (深成岩)